

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)

2023年度

研究開発実施報告書

SIP 課題名「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現する
プラットフォームの構築」

研究開発テーマ名「北海道における産業活性化および雇用創出
に繋がる社会人の学び直しのための基盤の構築と実証」

研究開発期間： 2023年10月1日 ～ 2024年3月31日

研究開発責任者	氏名	長谷山 美紀
	所属機関	国立大学法人 北海道大学
	部署	データ駆動型融合研究創発拠点
	役職	副学長・拠点長

研究開発成果等の概要

本研究開発テーマでは、地域の産業人材の学び方を変革させ、課題解決型のデジタル人材育成・確保を行うことで地域産業の活性化と雇用創出を促進し、地域創生につながる社会の実現を目指す。この実現に向けて本提案では、北海道の社会人を対象としたデジタルスキルの学び直しの場を構築し効果検証を行う『地域デジタル化基盤』と、産官学の異なるミッションを持つ人材が学び合い、交流し、課題解決に向けて協働する場『地域人材育成基盤』の2つの基盤を構築・運用する。また、産官学の強固な連携により、地域の人材全体のデジタルスキルレベルを底上げし、地域の中核人材の継続的な育成を実現する。なお、参画組織により設立したコンソーシアム等へ本基盤を引き継ぐことで、持続的運用を可能とし、成果を確実な社会実装へつなげることをおこなう。よって本研究開発テーマは、地域の主要産業に革新がもたらされた新たな社会を可視化するプロトタイプを早々に創出するものであり、Society 5.0 のショーケースを提示する一翼を担うものである。

本テーマでは、以下の図1に示す6項目を中心的に実施している。①は地域デジタル化基盤におけるハードウェア部分、②-④はそのソフトウェア部分の構築に該当し、⑤、⑥は地域人材育成基盤の実現に向けて実施する項目としている。

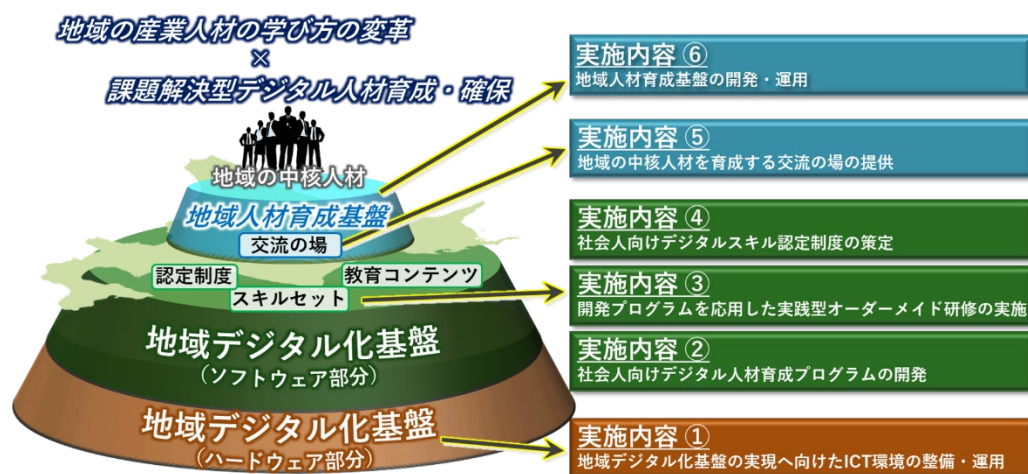


図1 本提案で中心的に実施する内容

① 地域デジタル化基盤の実現に向けた ICT 環境の整備・運用

【現在までの進捗状況】

- ・200～300 人規模の参加者が接続可能な既存のシステムを調整、運用試行を行っている。

② 社会人向けデジタル人材育成プログラムの開発

【現在までの進捗状況】

- ・人材育成用にスキルレベルの定義（4 段階を想定）、それぞれに対応したプログラムの開発を開始している。

③ 開発プログラムを応用した実践型オーダーメイド研修の実施

【現在までの進捗状況】

- ・北海道開発局を対象に、当該組織向けにカスタマイズした人材育成プログラムを作成し、約 50 名（2024 年 2 月現在）に対し実践型オーダーメイド研修を実施している。

また、北海道大学大学院生約 50 名に開発プログラムのチェック＆レビューを実施し、北海道開発局の研修受講者のアンケート結果と合わせて、開発プログラムの評価・分析を実施している。

④ 社会人向けデジタルスキル認定制度の策定

【現在までの進捗状況】

・実務で利用可能な社会人デジタルスキル認定制度の導入に向けた検討を開始している。

⑤ 地域の中核人材を育成する交流の場の提供

【現在までの進捗状況】

・交流施設の運営を開始している。また、2024 年 2 月 20 日に本研究開発テーマに関する公開シンポジウムを開催し、学内の教員・学生および産官などの学外者約 90 名の参加があった。さらに、今後企業の参画が促進されるよう、2024 年 3 月 11 日に北海道経済産業局が取りまとめている北海道デジタル人材育成推進協議会にて、北海道の経済関連団体に対し本活動を紹介した。

⑥ 地域人材育成基盤の開発・運用

【現在までの進捗状況】

・産官学が一体となり社会人の学び方について協議するコンソーシアムの設立に向けて、調整を開始している。また、参画組織が活用することを想定したデータベースの設計・開発を開始している。